

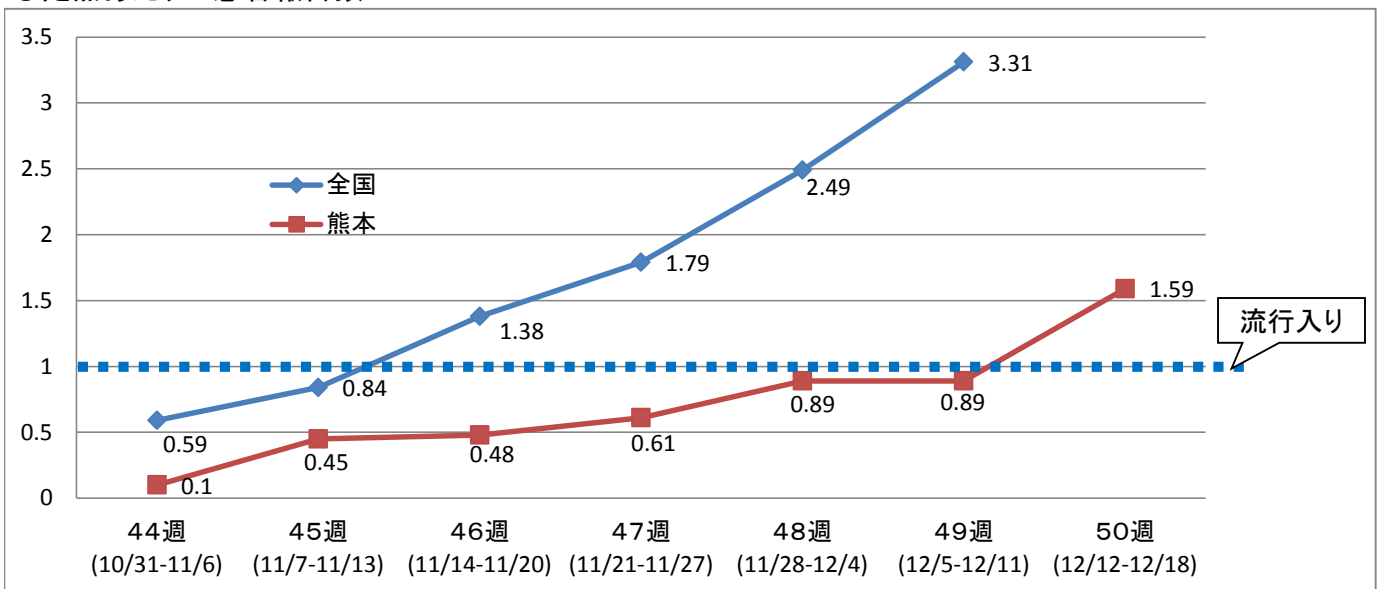
インフルエンザの流行期に入りました ～感染予防に努めましょう～

平成28年第50週(12月12日～12月18日)の熊本県感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点あたりの患者報告数(※)が1.59(定点数80カ所、報告数127)となりました。流行開始の目安とされている1.00を上回ったことから、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。

一人ひとりが正しい知識を身につけて、手洗い、せきエチケットなどインフルエンザ対策をしっかりと実行しましょう。特に、医療機関や高齢者施設、保育所、幼稚園、学校など集団生活の場では、徹底した感染予防に努めてください。詳しい予防対策は、裏面や国、県のホームページをご覧ください。

※定点あたりの患者報告数…1週間のうち定点医療機関(あらかじめ選定された県内80医療機関)から報告された患者数を定点医療機関数(熊本県は80)で割った値

○定点あたりの患者報告数



※全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報は平成28年第50週分がありません。

○地域(保健所)別定点あたりの患者報告数

	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県全体	全国
第48週 (11/28～12/4)	0.92	0.00	2.50	1.33	0.00	1.43	1.00	0.80	0.25	0.33	0.43	0.89	2.49
第49週 (12/5～12/11)	1.08	0.00	4.13	0.67	0.60	0.14	0.00	0.00	0.38	0.17	0.14	0.89	3.31
第50週 (12/12～12/18)	1.92	4.00	3.75	1.67	1.00	0.43	1.00	0.40	1.63	0.83	0.14	1.59	

《参考》

厚生労働省ホームページ「インフルエンザに関する情報」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/index

熊本県ホームページ「インフルエンザ総合情報ホームページ」

http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_13799.html

連絡先 健康危機管理課
直通 096-333-2240
内線 7082, 7080
(感染症・新型インフルエンザ対策班)
担当: 貞池、吉岡、山鹿

(裏面あり)

インフルエンザの流行期に入りました！

【現在のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の平成28年第49週（12月5日～12月11日）の定点あたりの患者報告数は「3.31」となっています。
※全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、1週古い情報になります。
- ② 今シーズンに入って国内各地で検出されたウイルスはA型が最も多くなっています。
※インフルエンザウイルスは大きくA型、B型、C型に分類され、国内で報告されるのは、主にA型とB型です。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、例年11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者数が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
- ② 20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを習慣づける。
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける。
- ⑤ 早めにワクチン接種を行う。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。（熊本地震の影響で救急病院等が混雑しています。重症化する前に受診しましょう。）
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ せきエチケットを守る。

※せきエチケットとは？

～感染の拡大を防ぐための大切なルールです～

- ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【過去のシーズンのインフルエンザ流行状況】

シーズン	流行入りした週 （※1）	注意報レベルに達した週 （※2）	警報レベルに達した週 （※3）	シーズン中、最も報告が多かった週
2016～2017 今シーズン	平成28年第50週 (H28.12.12～12.18)	—	—	—
2015～2016	平成28年第2週 (H28.1.11～1.17)	平成28年第4週 (H28.1.25～1.31)	平成28年第6週 (H28.2.8～2.14)	平成28年第9週 (H28.2.29～3.6)
2014～2015	平成26年第50週 (H26.12.8～12.14)	平成26年第52週 (H26.12.22～12.28)	平成27年第2週 (H27.1.5～1.11)	平成27年第3週 (H27.1.12～1.18)
2013～2014	平成25年第51週 (H25.12.16～12.22)	平成26年第3週 (H26.1.13～1.19)	平成26年第5週 (H26.1.27～2.2)	平成26年第5週 (H26.1.27～2.2)

- 【国が定める基準】 ※1 流行入り ・ ・ 定点あたりの患者報告数 1.0
 ※2 注意報レベル ・ ・ 定点あたりの患者報告数 10
 ※3 警報レベル ・ ・ 定点あたりの患者報告数 30